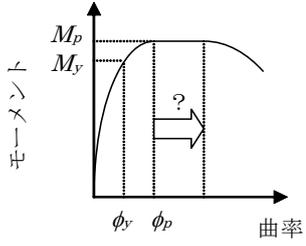


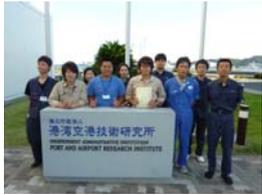
港湾空港技術研究所の構造研究チームと材料研究チームの最近の話題を紹介します。

研究	ハット形鋼矢板に適用された重防食被覆の耐久性評価
<p>ハット形鋼矢板は、従来の U 形鋼矢板より幅が広い為、矢板の打設回数が減り、矢板式構造物の建設コスト削減が可能です。この重防食被覆の耐久性評価に関する共同研究を鋼管杭・鋼矢板技術協会と 2008 年から実施し、矢板継手部や被覆損傷部の耐久性などを促進試験と実環境暴露試験（海水シャワー暴露場）により検討しました。成果は、近々、港空研資料として発表予定です。</p>	
 <p>ハット形鋼矢板 (海水シャワー暴露場に暴露中)</p>	

研究	鋼材の全塑性後の特性を活かした港湾鋼構造物の設計法
<p>現行の港湾基準では、レベル 2 地震動に対する栈橋の鋼管杭の性能を全塑性モーメントで規定し、これを非線形地震応答解析で照査しています。一方、鋼材の特徴として、全塑性後もひずみ硬化等により一定の耐力が保持されます。そこで、鋼材の全塑性後の特性を積極的に性能評価に取り入れることで、構造の合理化を図るための検討を日本鉄鋼連盟の助成を受けて実施しています。</p>	
 <p>モーメント 曲率</p>	

イベント	研究所の夏の一般公開
<p>7/31 に、当研究所の夏の一般公開が開催されました。当研究チームでは、「みなとをどうやって長生きさせる？」と題して港湾構造物の維持管理に関するパネル展示を行いました。また、2t 型消波ブロックとの記念撮影を行いました。ご来場いただきました皆様、どうもありがとうございました。</p>	
	

イベント	海洋・港湾構造物維持管理講習会
<p>構造物の維持管理の重要性が高まる中、これに従事する技術者の養成が喫緊の課題です。2008 年から、沿岸技術研究センターが海洋・港湾構造物維持管理資格制度を発足させ、年に 2 回の講習会を開催するとともに、11 月には海洋・港湾構造物維持管理士資格認定試験を実施しています。今年は、8/4~6 に大阪で、8/23~25 に東京で講習会が開催され、岩波、山路、加藤が講師を務めました。詳細は、同センターの HP をご覧下さい。</p>	
	

ひと	夏期実習生を受け入れました。
<p>7/20 から7名の夏期実習生を受け入れました。実習生の皆さんには実験の補助や現場計測、現地見学など、様々なことに熱心に取り組んでいただきました。暑い中、本当にお疲れ様でした。</p> <p>【構造研究 I】 松本泰季（東京理科大学大学院）、堀越摂理（東京理科大学大学院）、山本康之（九州工業大学大学院）、渡邊拓弥（東北学院大学）</p> <p>【材料研究 I】 荒木大智（東京理科大学大学院）、上土井太悟（鹿児島大学）、古川大嗣（鹿児島大学）</p>	 

最新の成果発表

(1)	川端雄一郎, 岩波光保, 加藤絵万, 審良善和: 銅スラグ細骨材を大量混合したコンクリートの施工性と品質変化に関する検討, コンクリート工学年次論文集, Vol. 32, No. 1, pp. 1541-1546, 2010. 7.
(2)	審良善和, 岩波光保, 山路徹, 石中正人: 干満帯に暴露した各種セメントを用いたコンクリート中鉄筋の自然電位および分極抵抗と鉄筋腐食の関係, コンクリート工学年次論文集, Vol. 32, No. 1, pp. 1661-1666, 2010. 7.
(3)	松林卓, 岩波光保, 川端雄一郎, 三浦紀明: 繰返し衝撃荷重を受ける四辺支持鉄筋コンクリート版の押抜きせん断耐荷性能評価に関する実験的検討, コンクリート工学年次論文集, Vol. 32, No. 2, pp. 715-720, 2010. 7.
(4)	井上祐一郎, 濱田秀則, 川端雄一郎, 山田一夫: ペシマム現象を生じる骨材を用いたモルタルのフライアッシュによる ASR 抑制効果, コンクリート工学年次論文集, Vol. 32, No. 1, pp. 953-958, 2010. 7.
(5)	審良善和, 岩波光保, 山路徹, 根本正幸, 吉田倫夫, 伊藤忠胤: 湾内環境にある港湾鋼構造物の干満帯における電気防食効果, 第 30 回防錆防食技術発表大会講演予稿集, pp. 151-154, 2010. 7.
(6)	小野大輔, 川端雄一郎, 李シンシュ, 李承周, 上野直広, 岩波光保, 徐超男: 応力発光センサーによるコンクリートのひび割れ進展の可視化, 可視化情報学会講演論文集, Vol. 30, pp. 343-344, 2010. 7.
(7)	T. Matsubayashi, M. Iwanami, and Y. Kawabata: Experimental study on residual punching shear capacity of RC slabs damaged by repeated impact loads, Proceedings of the 5th Civil Engineering Conference in the Asian Region, Sydney, Australia, 2010. 8.
(8)	小野大輔, 川端雄一郎, 李シンシュ, 川崎悦子, 上野直広, 岩波光保, 徐超男: 応力発光材料を用いたコンクリートのひび割れ検出技術の開発, 日本実験力学会講演論文集, No. 10, pp. 270-273, 2010. 8.

メンバー紹介

	氏名	役職	メールアドレス	苦手なもの	今月のひと言
構造	岩波 光保	チームリーダー	iwanami@	なし(ウソ)	ポケモンスタンプラリーで全駅達成しました。
	加藤 絵万	主任研究官	katoh-e@	我慢すること	今年の夏も痩せられなかった...
	川端 雄一郎	研究官	kawabata-y@	痛み	あばらが痛いです...
	土田 百佳里	派遣職員	tsuchida-y@	お仕事	毎日暑くて、海辺の研究所はリゾート気分です。
材料	山路 徹	チームリーダー	yamaji-t@	犬	熱中症になりませんように。
	審良 善和	研究官	akira@	高いところ	高所恐怖症です...
	小林 浩之	依頼研修員	kobayashi-h@	水	朝の自転車で仕事前からバテバテです。

※ メールアドレスの@以降は, pari.go.jp です。

連絡先	住所	〒239-0826 神奈川県横須賀市長瀬 3-1-1		
	電話	046-844-5059	FAX	046-844-0255
	URL	http://www.pari.go.jp/bsh/jbn-kzo/kuzo/kozo/index.html		

編集後記: 今年の夏は冷夏という事前情報だったと思うのですが、本当に暑い夏でした。早く涼しくなって欲しいものです。